

◆表1 農作業現場改善チェックリスト (農研機構革新工学センター HP より抜粋)

農作業現場改善チェックリストについて

1. チェックリストの特長

このチェックリストは各生産現場の安全対策や労働負担軽減対策を検討するに当たって、農家自身で改善の重点をしぼるためのものです。

「チェックリスト」は、現場を見ながら直接改善策を選択する方式になっています。これですぐ対策案の検討ができます。附属の「チェックリストの解説」は項目ごとに対策の考え方、対策事例をまとめており、参考になります。

農作業にも軽労化とともに自動化装置等のハイテク又は高度化技術が採り入れられています。新しい技術を安全に使いこなし、作業の軽労化につなげる努力を忘れないように、このチェックリストを活用して下さい。

2. チェックリストの使用方法 (次ページにチェックリスト掲載)

- 1) まず、チェックする作業、場所を決めます。
- 2) チェックリスト全体にざっと目を通し、大まかに内容を頭に入れておきます。
- 3) 対象の作業現場を数分間ながめます。視点を変えるために、周囲を巡回するのも重要です。
- 4) 各項目を見て、対策済み又は、不要な場合は「△」に、必要な場合は「○」に印でチェックします。(右図記入例参照)
メモ欄には途中気付いたこと、皆さんのアイデア等を書き留めておきます。
- 5) 「○」にチェックした項目の内、対策を優先する項目は「◎」へ印でチェックします。
- 6) 最後に、チェックもれがないか確かめます。
- 7) チェック後、チェックリストの解説を参考に具体的な改善案を検討し、対策します。共同作業者と
も相談します。(一度にたくさんの対策は難しいので、ここでは、2~3点にしぼることをお勧めします。)
- 8) 対策後、現場が改善されたか、他の項目が改悪されていないか確認します。

チェックリスト			優先
	不要	必要	
A1. 重量物の...	△	○	◎
A2. モノを持...	△	☑	◎
A3. 運搬台車...	△	☑	☑
⋮			

チェックリスト記入例

3. 留意点

- 1) 同じ現場でも季節が変わると改善すべき点が見つかる場合もあります。同じ場所でも年に数回チェックする習慣を身に付けて下さい。
- 2) なお、内容によって正式に資格が必要なもの、法律で規制されているものもあります。詳しくは、専門機関、自治体等へ問い合わせして下さい。
- 3) チェックリストに対するご意見、ご質問は下記までお願いいたします。

生研機構 (生物系特定産業技術研究推進機構) 基礎技術研究部安全人間工学研究
菊池豊 (きくちゆたか)、石川文武 (いしかわふみたけ)

住所: 〒331-8537 埼玉県大宮市日進町 1-40-2 TEL 048-654-7050 FAX 048-654-7131

[現連絡先]

農研機構革新工学センター 安全工学研究領域労働衛生ユニット 菊池豊

住所: 埼玉県さいたま市北区日進町 1-40-2

TEL: 048-654-7108

農作業現場改善チェックリスト

記入日時

年 月 日 時

記入者

作業名 (場所)

()

チェック方法：あらかじめチェックリスト全体にざっと目を通し、大まかな内容を頭に入れておきます。作業現場を数分間ながめます。各項目を見て、対策済み又は不要な場合は「△」に、必要な場合は「○」にレ印でチェックします。「○」にチェックした項目の内、対策を優先する項目は「◎」へレ印でチェックします。(右記入例)
※詳細は前ページのチェックリストの使用方法をお読みください。

	不要	必要	優先
A1. 重量物の...	△	○	◎
A2. モノを持...	△	☑	◎
A3. 運搬台車...	△	☑	◎
⋮			

チェックリスト記入例

A 重量物運搬の負担軽減

- | | 不要 | 必要 | 優先 |
|---|----|----|----|
| A1. 重量物の1個当たりの重さを軽くするため、複数個に分割します。…………… | △ | ○ | ◎ |
| A2. モノを持ちやすいよう工夫します。(例：取っ手取付け、容器に入れる、中身固定)…………… | △ | ○ | ◎ |
| A3. 運搬台車、コンベア等を使うことで、手による資材取扱いを減らします。…………… | △ | ○ | ◎ |
| A4. 腰痛にならないよう、荷物を体の正面近くに寄せてゆっくりと上げ下げします。…………… | △ | ○ | ◎ |

B 作業姿勢の改善、省力化

- | | | | |
|---|---|---|---|
| B1. できるかぎり、作業者が立ち姿勢と座り姿勢を交互にとれるようにします。…………… | △ | ○ | ◎ |
| B2. 疲労が後に残らないように作業時間、休憩回数、作業交代等を適切に割り当てます。…………… | △ | ○ | ◎ |
| B3. しゃがみ姿勢や、極端な上向き姿勢がないよう腰掛け台車等を導入します。…………… | △ | ○ | ◎ |
| B4. 資材の上げ下げを最小限にするため、作業区域の近くに整理棚を設置します。…………… | △ | ○ | ◎ |
| B5. 作業台、コンベア等を作業しやすい高さにします。…………… | △ | ○ | ◎ |
| B6. ひんぱんに使用する資材、工具や操作具を手の届きやすいところに置きます。…………… | △ | ○ | ◎ |
| B7. 作業しやすいように作物や果樹の間隔を広くしたり、仕立て方を工夫します。…………… | △ | ○ | ◎ |
| B8. 労働時間を短縮できるよう作業の効率化を図ったり、アルバイトを雇用します。…………… | △ | ○ | ◎ |

C 作業場、圃場の整備

- | | | | |
|--|---|---|---|
| C1. 円滑に通行できるように十分な広さの通路を確保します。…………… | △ | ○ | ◎ |
| C2. 通路の障害(突起)物を取り除いたり、覆いや印を付けます。…………… | △ | ○ | ◎ |
| C3. 作業場内の段差を小さなスロープ(坂)にします。…………… | △ | ○ | ◎ |
| C4. モノの受け渡し、運搬が最小限ですむよう通路、作業台等のレイアウトを改善します。…………… | △ | ○ | ◎ |
| C5. 高所作業をなくすか、安定した足場を設置します。…………… | △ | ○ | ◎ |
| C6. 安全に機械作業ができるように圃場の傾斜を緩くしたり、不整形区画を整備します。…………… | △ | ○ | ◎ |
| C7. 圃場への出入口の幅を広く、傾斜を緩くします。…………… | △ | ○ | ◎ |

【メモ】(気付いたこと、アイデア等を書きとめておきます)

D 作業環境の改善

	不 要	必 要	優 先
D1. 寒い季節には、室内を暖房したり、温かい服装で作業します。……………	△	○	◎
D2. 暑い季節には涼しい服装で作業したり、室内を涼しくする工夫をします。……………	△	○	◎
D3. 効率よく快適に作業できるよう、作業場内を明るくしたり照明の配置を工夫します。……………	△	○	◎
D4. サイロ、貯蔵室内の酸素欠乏及び有毒ガス中毒がないように換気します。……………	△	○	◎
D5. 作業者がやけどしないように高温部分（ヒータ、バーナー等）を防護します。……………	△	○	◎
D6. 粉塵の飛散が少なくなるように発生箇所から除塵するか、発生箇所の周囲を囲います。……………	△	○	◎
D7. 騒音や振動の大きい機械から離れて作業するか、機械の周囲を囲います。……………	△	○	◎
D8. 騒音の大きい機械を操作する時には耳栓やイヤマフを着用します。……………	△	○	◎

E 機械、道具の安全使用、管理

E1. 手持ち工具は使いやすいものを備えます。……………	△	○	◎
E2. 漏電や火事にならないよう電気機器や照明器具を安全に使用します。……………	△	○	◎
E3. 打ち身、切り傷に備えて手袋やヘルメット等保護具を使用します。……………	△	○	◎
E4. 家族で農作業安全や作業方法の知識を習得します。……………	△	○	◎
E5. 伝達軸、ベルト等危険な部分に安全柵を設置します。……………	△	○	◎
E6. 取扱説明書をよく読み機械を使用します。また、分かりやすい所に保管します。……………	△	○	◎
E7. 作業機はキャスト付き台やパレットに載せて保管します。……………	△	○	◎
E8. 機械の危険箇所や非常時に備えて操作方法を共同作業者にも知らせます。……………	△	○	◎
E9. 夜間の安全のために反射板、反射シールを機械に貼ります。……………	△	○	◎
E10. 機械を定期的に点検・整備します。……………	△	○	◎
E11. 機械の移動や点検整備がしやすいように格納庫を整備します。……………	△	○	◎
E12. 工具や消耗品を常に準備しておきます。……………	△	○	◎
E13. 手持ち動力工具、可搬型農業機械を安全に使用します。……………	△	○	◎

F 農薬、燃料の安全使用、管理

F1. 農薬の容器ラベル、取扱説明書をよく読み、正しく管理、使用します。……………	△	○	◎
F2. 農薬の保管庫を用意し、カギをかけ管理します。……………	△	○	◎
F3. 農薬調製、散布に当たっては正しく取扱います。……………	△	○	◎
F4. 農薬調製、散布に当たっては、マスク、眼鏡、手袋等適切な保護具を使用します。……………	△	○	◎
F5. 燃料の管理、取扱い方法を習得し、資格を取得します。……………	△	○	◎
F6. 燃料用の貯蔵場所を用意し、カギをかけ管理します。……………	△	○	◎

G 衛生管理等

G1. 農業副産物や廃棄物を分別して適切に処分します。……………	△	○	◎
G2. 自宅から遠くにある圃場や作業場に洗い場や休憩場所を設置します。……………	△	○	◎
G3. 小さな子供が作業現場内にいる時は安全と健康について注意を払います。……………	△	○	◎

【メモ】（気付いたこと、アイデア等を書きとめておきます）

◆表 2.1 屋内内作業場用点検リスト

No.	チェック項目	判定	メモ
1	蛍光灯・室内照明の取り付けは適切か（外れ、壊れ、汚れ等）	適 ・ 否	
2	作業台の照度は適切か（ちらつき、まぶしさ等）	適 ・ 否	
3	換気・空気調節は適切か	適 ・ 否	
4	温度・湿度管理は適切か	適 ・ 否	
5	作業スペースは適切か	適 ・ 否	
6	通路の幅は適切か	適 ・ 否	
7	作業場、廊下、階段等に躓き、滑りやすい箇所はないか	有 ・ 無	
8	配線、コンセントなど電気用具は安全に管理されているか	適 ・ 否	
9	不自然な作業姿勢はないか	有 ・ 無	
10	トイレ・給湯室に不衛生な箇所はないか	有 ・ 無	
11	非常口のドアは正常か	良 ・ 否	
12	消火器は常に使えるようになっているか	良 ・ 否	
13	AED や救急用品、防災品は適切に管理されているか	適 ・ 否	
14	棚やラックの物品は適切に保管されているか（落下の危険性）	適 ・ 否	
15	キャビネットの上のものは落下しないか	良 ・ 否	
16	家具や重量物は固定されているか	適 ・ 否	
17	室内表示物の取り付けは適切か	適 ・ 否	
18	室内の書類等は整理整頓されているか	良 ・ 否	
19	廃棄物の分別は適切か、清潔か	適 ・ 否	
20	適切な間隔で点検しているか	適 ・ 否	

◆表 2.2 農業機械類の点検リスト

No.	チェック項目	判定	メモ
1	農機具置き場は、置く場所を指定しているか	適 ・ 否	
2	農機のエンジンキーは抜かれて保管箱に管理されているか	良 ・ 否	
3	法定点検の必要な機械の定期点検を行っているか	適 ・ 否	
4	その他機械の定期的自主点検を行っているか	適 ・ 否	
5	接触可能な機械の部分にカバーはあるか	有 ・ 無	
6	トラクターには ROPS があるか、シートベルトはあるか	適 ・ 否	
7	運転者以外が操作できる非常停止ボタンはあるか	有 ・ 無	
8	工具類、取扱説明書は適切に保管されているか	適 ・ 否	
9	使用停止機具や部品は誤用されないようになっているか	適 ・ 否	
10	安全保護具、衛生保護具を適切に使用しているか	適 ・ 否	